

恵み あるうちに

長岡キリスト恵み教会だより第101号(2016年2月発行)



中国・四川省で2008年に大きな地震がありました。この地震で建物の下から子どもの上に覆いかぶさった状態での母親の遺体が発見されました。母親は箸を握りしめたまま、子どもに覆いかぶさっていたそうです。

自分の命を犠牲にしても、愛する者を守りたい。この母親は必死の思いで守ろうとしたのです。

さて、皆様のためにも命を捨てて、救いの道を用意して下さった方がおられます。

この素晴らしい愛を皆様を知っていただきたいのです。

春の 特別伝道集会

3月19日(土) PM 2:00 ~

PM 7:30 ~

20日(日) AM10:30 ~

PM 7:30 ~

21日(月祝) AM10:30 ~



長岡キリスト恵み教会

牧師 増山康友

京都府長岡京市長岡一丁目 2-6

TEL/FAX 075(955)4582

<http://megumi-church.com/nagaoka/>



すべて入場無料です。
お気軽にお越しください。

定例集会

—日曜日—

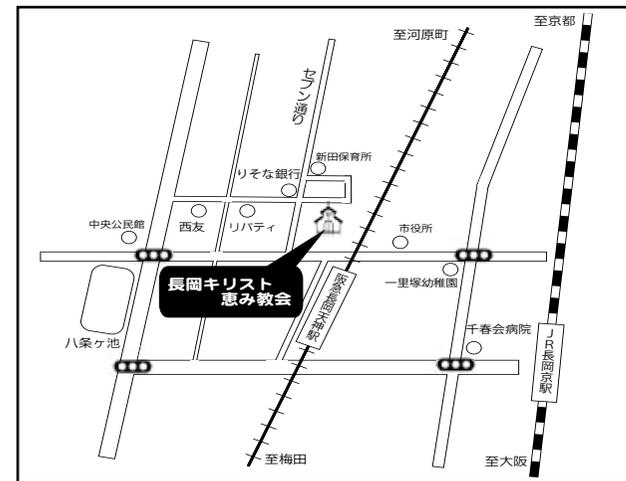
日曜学校 am 9:00 ~
礼拝 am 10:30 ~
中高生クラス pm 2:00 ~
聖書学び会 pm 6:00 ~

—水曜日—

婦人会 am 10:00 ~
ジョイクラス (中高生祈り会) pm 5:30 ~
祈り会 pm 7:30 ~

—土曜日—

聖書学び会 pm 3:00 ~
聖書学び会 pm 7:30 ~



当教会は、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会、(原理研)、末日聖徒イエス・キリスト教会(モルモン教)等とは一切関係がありません。これらの団体でお悩みの方は、是非ご連絡下さい。



しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために碎かれた。

彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちは癒された。

イザヤ書53章5節

十字架の御業

紀元三十年四月、イエス様は十二弟子とともに最後の晩餐の席についておられました。この時期は、ユダヤ人の過越の祭りの時期で、イエス様もエルサレムを訪れておられたのです。十二弟子とは三年半、共に時を過ごしてきました。しかし、その中の一人、イスカリオテのユダがイエス様を裏切ったのです。ユダヤ教の指導者に銀貨三十枚でイエス様を売ることを密約していた彼は、その場から出て行ったのです。



「父よ。彼らをお赦しください。」

イエス様は最後まで人間一人一人を愛され、そして、死なれたのです。

十字架の意味



なぜ、イエス様はこれほど苦しみを受けられたのでしょうか。

「義人はいない。一人もない。」

人間は真の神様を無視し、自分の欲望を追い求めて生きています。これは神様の前に罪です。その罪ゆえに死後に地獄での永遠の裁きが定まっているのです。イエス様は本来、人間が地獄で受けるはずだった罪の

その数時間後、イエス様達はゲツセマネの園におられました。そこにユダが剣や棒で武装した群衆を連れてやってきたのです。そして、ユダは口づけをもってイエス様を裏切りしました。

「先生。お元気で」

彼らはイエス様を捕らえ、大祭司のところまで連れて行きました。そこで偽証をし、無実の罪を着せようとしました。そして、最後にはイエス様に目隠しをし、唾をかけ拳で殴りつけ、平手で打ちました。そのうえ、ひどい中傷をし、大変な仕打ちをイエス様に

与えたのです。その後、夜が明けると、イエス様を訴えるため、ローマの総督ピラトのもとに連れて行きました。

「この人には何の罪も見つからない。」

ピラトはイエス様に対して、三度無罪宣告をしています。しかし、ユダヤ人は妬みと憎しみに駆られ、「十字架につけろ」と叫び続けたのです。その結果ピラトはその圧力に負け、イエス様を十字架につけることを許したのです。



罰を罪人の身代わりとなって受けてくださったのです。

イエス様は十字架で死なれた後、墓に葬られ、三日目の朝に復活されました。五百人以上の弟子たちの前にその姿を現されたのです。そして、40日後天に帰られました。イエス様は真の神です。そして、皆様がこのイエス様を真の神様、地獄からの救い主だと信じるだけで皆様の罪は全て赦されます。そして、死後の恐ろしい火の燃える地獄ではなく、神様のおられる天国に行くことができるのです。

「御子を信じる者は裁かれない。信じない者は神のひとり子の御名を信じなかったため、すでに裁かれている。」

イエス様はご自身の命を捨てて、人間を救ってくださいました。どうか、このイエス様の素晴らしい愛を受け取っていただきたいのです。イエス様は今も天で皆様が立ち返るのを心から待っておられます。どうか、神様の前に罪をお認めになり、イエス様を信じ、救われる方であってください。



十字架への道

イエス様は、人々から嘲笑され、鞭打たれ、はづかしめられました。傷つけられたイエス様は、ゴルゴダの丘へと向かわれたのです。途中、余りにひどい傷のゆえに十字架を背負って歩くことができなくなっていました。この時、その場にいたクレネ人シモンが無理矢理十字架を背負わされました。ゴルゴダの丘につくと、全裸にされ、十字架に付けられました。その間も人々からの嘲笑は絶えません。しかし、イエス様は黙って耐え忍ばれたのです。